

## 2. 住民ワークショップ

浪江駅周辺整備について「屋外空間の“使い方”や、その使い方を踏まえた“あったら良い機能”とは何か!?”をテーマに、令和5年8月、11月、12月に計3回住民ワークショップを開催いたしました。

ワークショップの様子やいただいた主なご意見についてご紹介します。

### ■住民ワークショップの様子やいただいた主なご意見

#### ■駅前空間や芝生広場

- ・イベントを実施するためのステージとバックヤードが欲しい。
- ・コワーキング施設やカフェテラスを駅前に設け、電車待ちの人が時間をつぶせるスペースが欲しい。
- ・イベント等で使える水回り(給水・排水)を設置してほしい。
- ・駅前に、放課後小中学生が勉強したり、ゲームしたり、おしゃべりするような居場所があると良い。
- また、親の仕事が終わる頃迎えに行けるように、夜遅くまで営業してほしい。

#### ■連続する緑空間

- ・バリアフリーに配慮された空間や、樹木や東屋等による日影のある空間づくりしてほしい。
- ・スポーツ系イベントを実施したい。(モルック、ポッチャ、サッカー、アスレチックなど)

#### ■商業施設

- ・高齢者や若者が気軽に集まれるスペースが欲しい。
- ・設備等はできるだけ作りこみすぎず、事業者へ選択肢を与えたほうがいい。

#### ■より良いまちになるための取組

- ・イベント開催やまちづくり活動を企画するためのアドバイザーが欲しい。
- ・駅前をはじめ町内の施設管理をエリアマネジメントで一体にできると良い。
- ・“浪江に住んでいる人”が、「日々利用したくなる」や「子育てしたくなる」ようなまちにしてほしい。



## 3. 浪江駅周辺整備計画スケジュール

※整備スケジュールは想定であり、今後変更となる可能性があります。



浪江駅周辺グランドデザイン基本計画(2022.3策定)より

【発行者】浪江町 市街地整備課

TEL:0240-34-0227

【編集者】独立行政法人都市再生機構 (UR都市機構)

浪江復興支援事務所



## 1. まちづくりニュース発行のご挨拶

日頃より、浪江駅周辺整備事業にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、本事業は、令和4年3月に「浪江駅周辺グランドデザイン基本計画（以下、「グランドデザイン」といいます。）」を策定し、現在下の写真に見られますとおり、家屋等の解体撤去工事から順次進めております。令和6年度より本格的に整備工事が始まり、これから復興に向けてまちが大きく変わっていきます。

このたび、新しく変わりゆく浪江駅周辺の様子について、定期的にお知らせするため、「浪江駅周辺整備事業 まちづくりニュース」を発行しました。

今回は、改めて「グランドデザインの概要」についてお伝えし、令和5年に3回開催しました「浪江駅周辺整備事業住民ワークショップ」の結果についてお知らせいたします。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。



# 「なみえルーフ」が生み出す、人のつながり

詳しい内容は  
こちらを見てね！

YouTube

基本計画書



駅前の芝生広場を囲んで、木をふんだんに使った建物と、ひと続きにつながるアップダウンのあるダイナミックな大屋根「なみえルーフ」が、町ににぎわいを生み出します。みんなが「なみえルーフ」に集まり、人と人のつながりが生まれます。



## 公営・民間住宅 延床面積 約7,700㎡

芝生広場に面した住居棟は、プライバシーに配慮して1階は集会スペースとします。周囲には木々が立ち並び、駅前にありながら落ち着いた住環境となります。



## 交流施設 延床面積 約1,600㎡

2階 コワーキングスペース、打ち合わせスペース  
1階 情報発信、カフェ、待合スペース  
2階の張り出したワークスペースから芝生広場が一望できます。居住者や来訪者の交流の場としてお使いいただけます。

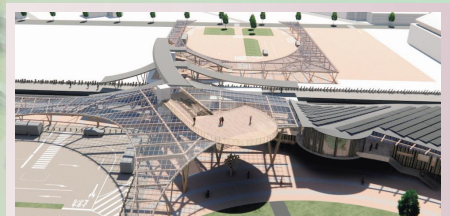


## 商業施設 延床面積 約2,600㎡

スーパーマーケット、物品販売店舗、飲食店など  
広場を取り囲むように店舗が並びます。ガラス張りの壁で、屋内にいても開放感が生まれます。店内は明るく、外からも店内の賑わいが見えます。



幻想的に照らし出される夜の駅前空間



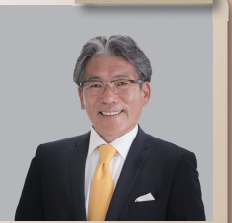
新しい浪江が見渡せる展望テラス



駅の東西を結ぶ自由通路

### 浪江町長

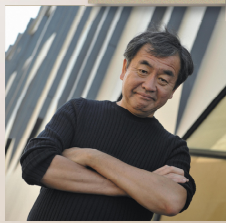
吉田 栄光  
Eiko YOSHIDA



浪江駅周辺を「皆さまが希望の持てる世界に誇れるような街並み」にします。そして、そのにぎわいを町全体に波及させて、持続可能なまちづくりに取り組みます。この計画は、皆さまが活躍する舞台づくりです。住む、働く、訪れる。浪江町の主役は皆さまです。いっしょにまちづくりをしましょう。

### 建築家

隈 研吾  
Kengo KUMA



駅から始まり、その周辺の交流・商業施設や共同住宅までを総合的にデザインできるのは、世界的に見ても貴重なチャンスです。浪江町の自然や文化と共にこのチャンスを活かし、人々がひとつの大きな屋根でつながり、そして世界に発信していくような街をつくっていきます。

### アートプロデューサー

伊東 順二  
Junji ITO



11年前、防護服を着てなんとかの町の姿を映像に残そうと誰もいない街を巡った時は、今のように復興に関われるとは想像もしていませんでしたが、いつかの記録で貢献したいと強く思っていました。当時の駅周辺が新しいデザインに生まれ変わることは素晴らしいことで、そこに残っていた思い出をぜひ形にしたいと思っています。

### 住友商事株式会社 EII企画戦略部長

北島 誠二  
Seiji KITAJIMA



浪江町の皆さんと共に、あたらしい浪江の姿をデザインしていく貴重な機会を頂きました。水素や再生可能エネルギーをエリア環境と調和させながら、新たなチャレンジの場を創出し、浪江町に根差した新しいライフスタイルを世界に発信できるまちづくりに貢献していきます。



## 浪江の魅力を集めた「連続する緑空間」

駅前から新町通りまで連続する緑空間に、山と海の両方の良さを持つ浪江町の特徴を活かします。

